

1. はじめに

広島県腫瘍登録事業は、昭和48年（1973年）4月1日から開始されました。全国でも、本県と長崎県だけで実施しているこの事業は、県下のがん対策に資するべく放射線影響研究所（当時の ABCC）や広島大学との協定から始まり、誕生から43年という時を経ました。

各施設のご理解とご協力のおかげで平成28年（2014）年も51,186件の多数のご登録をいただき、事業開始から平成28年（2016）末までの総登録受付件数は1,324,061件に達しました。永きにわたる各施設のご理解とご協力の賜であり、本事業に尽力いただいた諸先生方に感謝申し上げます。

広島県医師会は、学術団体として今後も腫瘍登録事業を継続し、この他に類をみないデータをいかに活かしていくかが、ひいては県民のがん対策・がん診療に資すると考えております。

この腫瘍登録では、データ集計を基に、毎年報告書を発行しており、この度、広島県腫瘍登録報告書 No.41を作成しました。内容については、最初に「グラフで見る2013年のデータ」として平成25年（2013）における腫瘍組織登録の結果をまとめました。次に、特定解析臓器では、「骨腫瘍」の解析を行いました。骨腫瘍は比較的頻度の少ない腫瘍ではありますが、多くの組織分類の種類を有しており、これまでとはまた違った解析となっております。ぜひご覧いただきますようお願い申し上げます。

また、冒頭も申し上げました通り、今後も、放射線影響研究所や広島県とも連携しながら、いかに腫瘍登録事業の成果を県民に還元していくかを考え、前向きに推進してまいりたいと考えております。

引き続き本事業に対しまして、何卒ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

一般社団法人広島県医師会会長
広島県腫瘍登録委員会委員長

平 松 恵 一